

# 中期経営計画期間における配水状況・財務状況

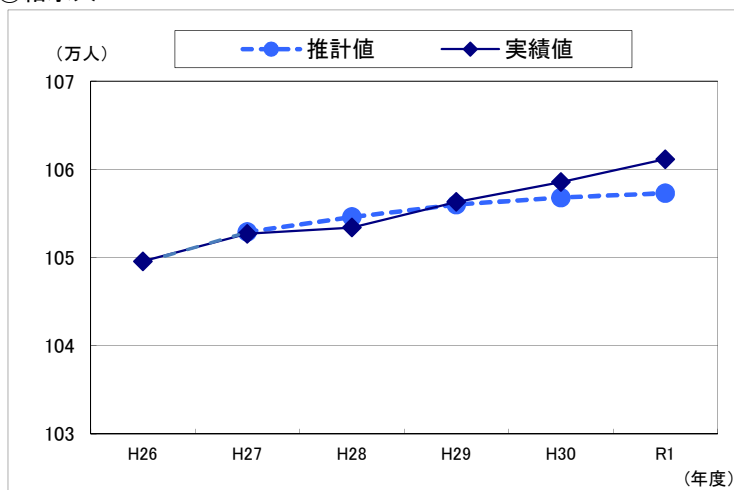
## 1. 配水状況

### 【1】配水実績と計画

	【参考】 計画前年度	中期経営計画期間				
	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)
給水人口 (人)	1,049,573	1,052,692	1,053,406	1,056,300	1,058,549	1,061,155
一日平均配水量 (m <sup>3</sup> /日)	328,294	328,626	328,139	329,145	329,586	327,283
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> /日)	363,807	365,543	356,781	358,848	359,172	355,652
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	119,827,165	120,276,944	119,770,700	120,138,044	120,298,943	119,785,439
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	112,856,490	113,353,413	113,429,031	113,534,750	113,500,467	113,020,954

### 【2】中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

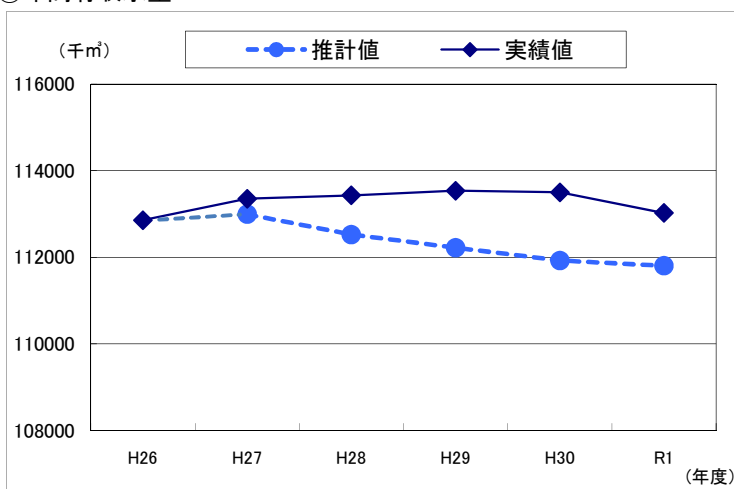
#### ①給水人口



令和元年度実績値は推計値を約3,900人上回りました。



#### ②年間有収水量



令和元年度実績値は推計値を約122万m<sup>3</sup>上回りました。



※ 上記①、②の推計値は、中期経営計画に掲載している配水計画値(平成26年12月推計)です。

## 2. 財務状況

### 【1】収益的収支の状況

(単位:百万円)

区分		年度	【参考】	中期経営計画期間				
			計画前年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
収益的 収支	収入	給水収益	25,448	25,561	25,593	25,597	25,607	25,704
		水道加入金	1,171	1,159	1,313	1,402	1,452	1,295
		他会計補助金	370	335	351	359	351	343
		長期前受金戻入	1,396	1,403	1,402	1,348	1,321	1,359
		その他の他	1,439	1,254	1,331	1,529	1,396	1,294
		計	29,824	29,712	29,990	30,235	30,127	29,995
	支出	人件費	2,939	3,011	3,365	3,225	3,111	3,406
		物件費	6,369	6,817	6,712	6,540	6,499	6,989
		受水費	6,946	6,337	6,295	6,282	6,277	6,334
		減価償却費	7,301	7,320	7,366	7,465	7,639	7,792
		支払利息	1,464	1,367	1,260	1,156	1,048	935
		その他の他	5,134	1,251	2,269	1,902	985	984
		計	30,153	26,103	27,267	26,570	25,559	26,440
		当年度純損益(税込み)	△ 329	3,609	2,723	3,665	4,568	3,555
	当年度純損益(税抜き)	△ 830	3,033	1,989	2,944	3,944	2,797	
	その他未処分利益剰余金変動額	31,433	—	1,630	1,989	2,944	3,944	
	利益剰余金 (△ 欠損金)	30,603	3,033	3,619	4,933	6,888	6,741	

※ 消費税及び地方消費税込みの額です。ただし、当年度純損益(税抜き)、その他未処分利益剰余金変動額及び利益剰余金については消費税及び地方消費税抜きの額です。

※ 平成26年度のその他未処分利益剰余金変動額314億34百万円は公営企業会計制度の見直しによるものです。数字上では利益剰余金が増加しておりますが、新たな現金収入が発生する訳ではないため、会計制度見直し前と比べて経営実態に変化はありません。

※ 令和元年度の利益剰余金67億41百万円については、39億44百万円を資本金に組み入れ、27億97百万円を建設改良積立金に積み立てました。

### 【2】資本的収支の状況

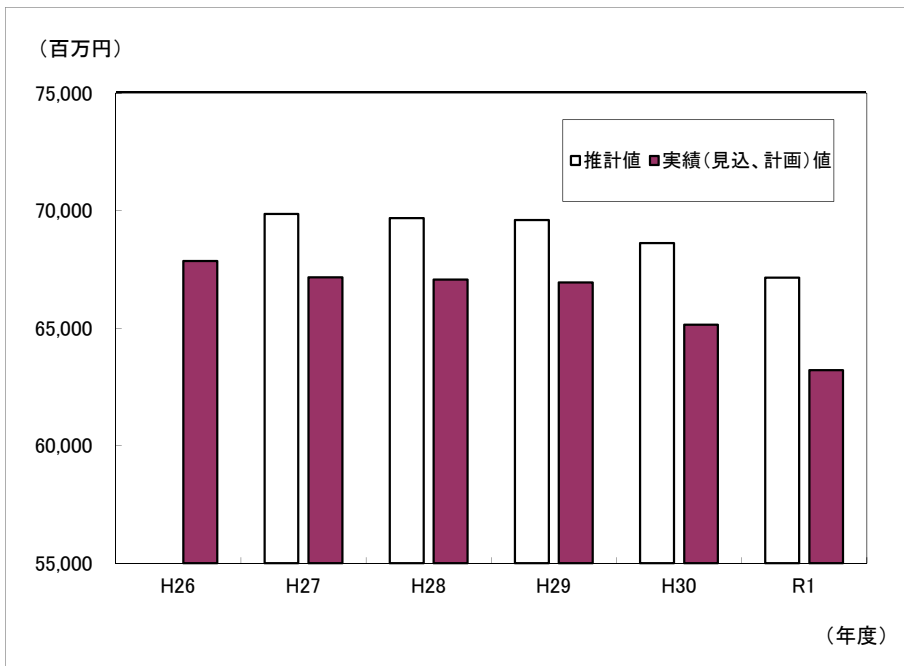
(単位:百万円)

区分		年度	【参考】	中期経営計画期間				
			計画前年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
資本的 収支	収入	企業債	3,020	4,135	5,148	5,433	3,927	4,092
		出資金	496	665	644	681	541	379
		国庫補助金	124	216	121	241	478	338
		その他の他	515	543	424	395	444	257
		計	4,155	5,559	6,337	6,750	5,390	5,066
	支出	建設改良費	8,013	8,894	10,730	10,315	9,393	10,187
		企業債償還金	5,078	4,837	5,238	5,552	5,726	6,029
		その他の他	0	0	0	0	0	0
		計	13,091	13,731	15,968	15,867	15,119	16,216
		収支差額	△ 8,936	△ 8,172	△ 9,631	△ 9,117	△ 9,729	△ 11,150
	補てん財源	14,120	15,055	18,102	19,311	21,210	22,526	
	累積資金剰余額	5,184	6,883	8,471	10,194	11,481	11,376	
	企業債残高	67,866	67,164	67,074	66,955	65,156	63,219	

※ 消費税及び地方消費税込みの額です。ただし、補てん財源、累積資金剰余額及び企業債残高については消費税及び地方消費税抜きの額です。

### 【3】中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

#### ①企業債残高

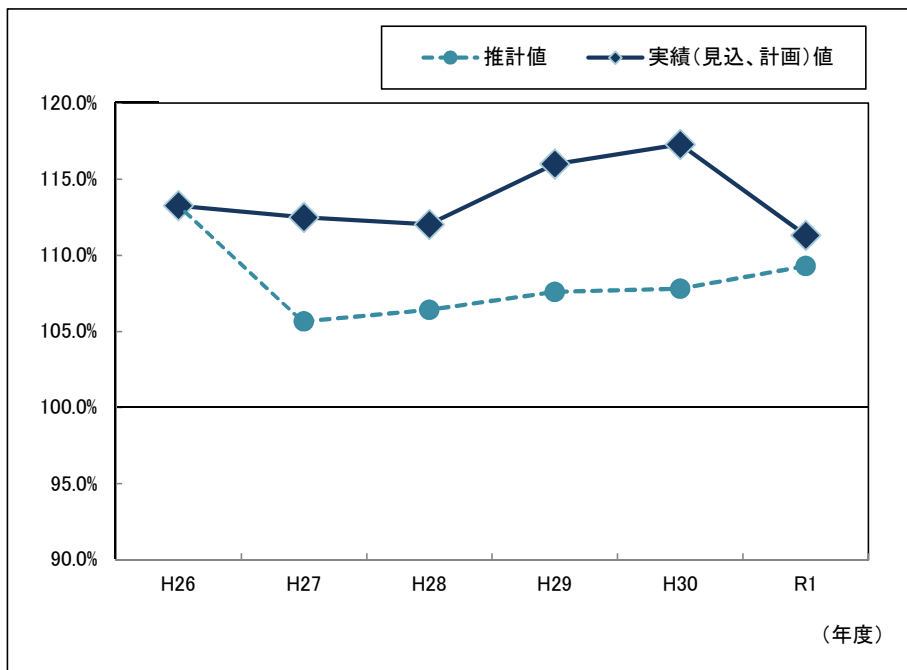


令和元年度実績値は推計値を約39億3千万円下回っており、財務状況の安全性が着実に高まっていることが分かります。

※企業債  
水道施設などの建設、改良などに要する資金に充てるために発行する地方債で、一般企業における社債及び長期借入金にあたりません。



#### ②経常収支比率（中期経営目標）



令和元年度実績値は前年度に引き続き100%以上であることから、財務状況は健全であると言えます。

※経常収支比率  
経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、100%以上の場合は良好な経営状態であると言えます。



※ 上記①、②の推計値は、中期経営計画に掲載している財政収支計画に基づく値(平成27年3月推計)です。